

はまさき諏訪神社の七不思議

虹の松原の北端に諏訪神社があります。ここの諏訪姫の伝説は七不思議の一つ「虹の松原にヘビがない」に関係があります。

詳しくは平成16年に浜玉町商工会から出版された「はまさき諏訪神社の七不思議とすわ姫・悲恋物語」に載っています。

- 1 . 誓来と諏訪姫の悲恋物語
- 2 . 夫婦岩の不思議な話
- 3 . マムシも恐れる不思議な「お砂」
- 4 . 貴重な庭園づくり
- 5 . 5千万年前の大木の化石
- 6 . 古墳と謂われる珍しい庭園
- 7 . 男女抱擁の木と500年の鎮守の森



虹の松原 松の七不思議

虹の松原には今まで語り伝えられてきた七不思議だけでなく、まだまだ不思議なことがあります。それらを七つにまとめてみました。

- 1 . 松原にもマツタケ
普通は山にあるマツタケが松原にもあります。
- 2 . 消えた松露
かつて、たくさんあった松露を今は見かけることはありません。
- 3 . 連理の松
風が強いのに、2本の松の幹や枝がつながっています。
- 4 . 松のなかの砂
伐採された松の空洞にか砂が入っていることがあります。
- 5 . 体が斜になる小道
歩いていると、自然に体が斜になる道があります。
- 6 . 松の切り傷
地上近くの松の幹に三角模様の傷跡があることがあります。
- 7 . 太い松も細い松も同じ高さ
太い松の方が高くないのは何故か。